



がっこう がくしゅう い み 学校で学習する意味

もうすぐ前期末考査です。この前期末考査が終われば今学期の成績が出ます。1年生は、高校はじめての自分の成績で楽しみや不安など様々な思いがあるかもしれません。

今回の磨拿備では、皆さんが一度は考えたことがあるであろう、「なぜ学校で学習するのか」について話していきたいと思います。今まで学校に来てなんとなく学習をしてきた生徒や、嫌々学習をしてきた生徒がいるかもしれません。もちろん学校に来ることがとても大切なことですが、なんとなくや、ネガティブな思いで過ごすのではもったいないと思います。せっかく学校に来ているのであれば、学校に来て学習する意味を頭の片隅に置き、ポジティブな思いで学校生活を送ってほしいと思います。

そして先生が考える学校で学習する意味とは、「問題を解決できるようにするため」だと思います。ここでいう問題というのは、人間関係の問題や、社会に出た時の仕事上の問題など様々な問題や困難のことを指します。学校で学習するすべての学習が直接問題解決に結びつくわけではありません。しかし、学校で学習するときに今までに得た知識を組み合わせて問題を解決する癖をつけておけば、社会に出て困難な状況に陥っても解決に向けて行動することができると思います。

また、国語や英語などの言語に関する学習では他教科に比べ、日常生活に直接関わることが多いと思います。国語に関しては、授業のほかに各自で読書をして自分の語彙力を養うことによって、自分の伝えたいことを相手に簡潔に伝えることができるかもしれません。このように、学校で学習する意味を自分の中で見出すことができた生徒は、学校での学習だけでなく、将来の自分がどうなりたいか見通しをもって日々を過ごしていってほしいと思います。

学校で学習する意味は、「問題を解決するため」と先生は話しましたが、考え方は一人一人違うと思いますので自分が思う、学校で学習する意味というものを一度考えてほしいと思います。今回の磨拿備が、少しでもその意味を考えるきっかけになればと思います。

また、自分自身がなぜ学習をするのか、社会に出たときに役に立つスキルは学校の中で身につけられるのかなど、何事にも意味や目的、見通しをもって取り組む習慣を日頃から行い、身につけてほしいと思います。

